

積乱雲

南国真夏の入道雲 JOCVのバイタリティー

第53号 (2022・8)

●編集・発行

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

鹿児島市卸本町8-20

TEL 099-268-9711

(題字・初代会長 石神 兼文)

令和4年度通常総会を開催

令和4年6月28日(火)、かごしま県民交流センターにて令和3年度通常総会が開催されました。33名の出席、およびご来賓として鹿児島県PR・観光戦略部国際交流課長の 大園博文氏にご出席を賜り開会の挨拶を賜りました。

初めに衛藤威臣会長より開会のあいさつが行われ、今年度の活動等について簡単な説明後に議題の審議に入りました。昨年に続き、コロナ禍での取り組みではありましたが、その時々把事情を考慮した形で、昨年度の事業計画が達成されたこと、また、予算についても問題なく取り扱われていることが報告され、それぞれ全会一致で承認されました。計画案についても状況が変化する場合、逐次判断していくことが説明され、同様に承認されました。

議事終了後は、JICA九州センター所長の吉成安恵氏より、JICAの最新動向についてご紹介いただきました。「信頼で世界をつなぐ」をキーワードに、2022年5月現在、500名のJICA海外協力隊が派遣され、各国事務所職員やJICA派遣専門家も少しずつ戻りつつあるようです。平和で安全な社会の実現に向け、「JICA保健医療イニシアティブ」の立ち上げやウクライナ侵攻後の緊急人道支援、保健医療ニーズの調査団派遣など、状況に即した対応なども紹介されました。また、外国人材受け入れ支援に関する取り組みやニーズに応じた多文化共生セミナーの開催、SDGsとビジネスの組み合わせによる海外展開など時代に沿った新しい動きについてもお話いただきました。



【来賓挨拶】



【会長挨拶】



【JICA最新動向紹介】

令和4年度

通常総会議案

日時 : 令和4年6月28日(火) 15:00
会場 : かごしま県民交流センター

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

総 会 次 第

1. 開 会

2. 会 長 挨 拶

3. 来 賓 挨 拶

鹿児島県国際交流課長 大園 博文氏

4. 議 長 選 任

5. 議 事

第1号議案 令和3年度活動報告

第2号議案 令和3年度収支決算報告
(監査報告)

第3号議案 令和4年度活動計画 (案)

第4号議案 令和4年度収支予算 (案)

その他

6. 「JICA の最新の動き」

JICA九州所長 吉成 安恵氏

7. 閉 会

第1号議案 令和3年度事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1. JICA 海外協力隊 帰国隊員（一時帰国待機中隊員を含む）への進路支援

a) 帰国隊員の進路相談支援

青年海外協力隊1名とシニア海外協力隊1名の進路相談に対応

b) 帰国隊員の知事表敬同行

7月12日副知事表敬に同行

c) 県内企業求人・進学など進路に関する情報収集と提供

2. JICA 海外協力隊 現職派遣の推進

従来募集説明会や電話等での相談時に、制度の説明を行っていたがその機会が訪れず

3. 協力隊事業の広報並びに国際性豊かな青少年の育成

a) 「協力隊OBと留学生が先生」教育プログラムの実施

(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会で実行委員会組織)
当初県下25市町村の43校で実施予定であったが、コロナ禍の中2市町8校より中止のお知らせがあり、35小中校で実施。詳細は別紙の通り。

b) 第29回鹿児島県青少年国際協力体験事業の実施

(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会で実行委員会組織)
例年夏休み時に中高生を協力隊員の活動現場に派遣しているが、本年度は途上国の感染状況や協力隊員の再派遣状況、そして県内の感染状況等を総合的に判断し派遣を中止。

c) 国際協力講演会の開催

(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島市国際交流財団との共催)

・日時 — 令和3年12月12日

・内容 — 第1部国際協力講演会

講題：「援助から協力」へ、「協力からビジネス」へ

講師：萩野次信 ((株)教育情報サービス代表取締役)

第2部青年海外協力帰国隊員報告会

長嶺快多 PNG (理学療法士)

丸野里美 カンボジア (小学校教諭)

・場所 — かがしま国際交流センター

・参加者 — 約80名

d) ホームページの <http://www.kagojocv.net> の充実

4. 派遣中 JICA 海外協力隊員への支援

- a) 月刊誌「グラフかごしま」の送付 — 中止
- b) 壮行会の開催 — 中止
- c) JICA 海外協力隊家族連絡会の開催 — 中止
- d) 知事表敬への同行 — 中止

5. 組織強化及び会員サービス

- a) 月刊誌「クロスロード」及び協力隊カレンダーの送付
- b) 会報「積乱雲」の発行及び送付 — 年 2 回発行
- c) 会員増強 — 個人へ加入の呼びかけ
- d) 会員状況

令和 4 年 4 月 31 日現在

	会 員 数	対 前 年 比	口 数	対 前 年 比
地 方 自 治 体	3 0	増減なし	4 7 口	増減なし
団 体 ・ 企 業	4 3	+ 1	5 5 口	+ 1
個 人	3 5	+ 5	3 7 口	+ 5
合 計	1 0 8	+ 6	1 3 9 口	+ 6

6. 国際協力支援及び広報活動

- a) 県内各地での帰国隊員報告会の実施（協力隊OB会との共催） — 中止
- b) 「小さなハートプロジェクト」の実施 — 実施叶わず
- c) 県民の「国際支援・協力への思い」橋渡し支援 — カンボジア学校支援
- d) 国際交流・協力イベントへの参加 — パネル展示、相談コーナーの設置
かのやバラ園協力隊 OB 会ブース出展、国際協力パネル展（イオンモール鹿児島）
- e) マスコミへの取材協力 — 南日本新聞社、毎日新聞社、
- f) 講師派遣 — 鹿児島県立短期大学、志学館大学、国分西小学校、かのやバラ園、KAPIC センター等

7. 各種機関・団体との連携

鹿児島県、JICA 九州、青年海外協力隊OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会、(公財)鹿児島市国際交流財団、鹿児島国際交流促進センター（KAPIC、かごしま国際交流センター）他関係団体との連携

8. 会議開催及び行事参加

- a) 通常総会・理事会の開催
通常総会 — 令和 3 年 6 月 1 1 日
理事会 — 第 1 回 令和 3 年 6 月 1 1 日、
- b) 各種会議、行事への参加
- c) OB 会・支援する会全九州ブロック会議オンライン参加

令和3年度 協力隊OBと留学生が先生事業 事業報告

教育事務所等	市町村名	学校名	学年	対象人数	派遣日	OB	外国人
鹿児島市	鹿児島市	鴨池小学校	6	104	2月1日	先方からの申し出により派遣中止	
		錦江台小学校	6	114	2月2日	先方からの申し出により派遣中止	
		牟礼岡小学校	5	16	11月11日	津平 由紀恵(ガーナ)	シン ジョンヒ(韓国)
		中洲小学校	6	60	2月10日	サナブリア 智子(パラグアイ)	-
		錫山中学校	全	4	12月8日	深水 布由実(マラウイ)	黄 敬蓉(台湾)
		谷山北中学校	2	224	10月4日	肥後 朋子(ネパール)	グエン ティ トウ(ベトナム)
鹿児島	日置市	伊作田小学校	3, 4	14	1月27日	先方からの申し出により派遣中止	
		永吉小学校	全	42	2月2日	深水 布由実(マラウイ)	-
	いちき串木野市	生福小学校	4~6	40	10月25日	仮屋 慶一(モルディブ)	米田 智美(台湾)
	十島村	悪石島小中学校	全	11	10月19日	長嶺 快多(バブアニューギニア)	テン スーペイ(中国)
南薩	南さつま市	万世小学校	5.6	65	7月17日	後藤まどか(フィリピン)	-
	枕崎市	枕崎中学校	3	79	7月2日	竹原辰徳(インド)	-
		桜山小学校	6	27	2月7日	近森 章(ラオス)	-
		桜山中学校	全	64	10月21日	桑山 昌洋(ボツワナ)	角野百合加(中国)
		枕崎小学校	6	65	2月12日	深澤 幸子(ブルキナファソ)	-
北薩	出水市	米ノ津中学校	全	315	9月24日	仮屋 慶一(モルディブ)	-
	さつま町	流水小学校	全	36	9月28日	先方からの申し出により派遣中止	
	出水市	江内小学校	全	75	2月22日	近森 章(ラオス)	-
	出水市	出水中学校	2.3	400	2月4日	先方からの申し出により派遣中止	
	長島町	平尾小学校	全	71	11月9日	塚田 拓(コスタリカ)	フォン ズリン(台湾)
	さつま町	山崎小学校	3~6	30	11月26日	塚田 拓(コスタリカ)	-
	始良・伊佐	霧島市	竹子小学校	全	23	11月4日	森下 千里(ラオス)
霧島市		国分西小学校	6	109	12月17日	仮屋 慶一(モルディブ)	*楊 沛豪(中国)
霧島市		天降川小学校	6	156	2月15日	先方からの申し出により派遣中止	
霧島市		牧之原中学校若駒分校	全	8	5月26日	肥後 朋子(ネパール)	グエン ティ ゴック(ベトナム)
湧水町		吉松中学校	全	64	6月14日	園中 秋葉(キルギス)	-
伊佐市		山野小学校	全	45	11月2日	仮屋 慶一(モルディブ)	-
大隅	鹿屋市	寿小学校	6	110	5月10日	平田 良幸(ドミニカ)	-
	大崎町	大崎小学校	6	50	11月29日	津平 由紀恵(ガーナ)	米田 智美(台湾)
	志布志市	有明小学校	6	29	3月2日	先方からの申し出により派遣中止	
	南大隅	第一佐多中学校	全	25	12月6日	前原 無量(スリランカ)	-
	錦江町	田代中学校	全	41	7月18日	仮屋 慶一(モルディブ)	*果 子翔(中国)
	曾於市	岩川小学校	5.6	98	2月1日	仮屋 慶一(モルディブ)	*果 子翔(中国)
	曾於市	高岡小学校	全	5	2月16日	前原 無量(スリランカ)	-
	肝付町	国見中学校	全	27	12月3日	兒嶋 盛之(ネパール)	*周 杰(中国)
熊毛	西之表	安城小学校	全	12	6月12日	日高 かおり(ザンビア)	-
	中種子	岩岡小学校	全	37	7月15日	渡邊 里美(ボリビア)	シン ジョンヒ(韓国)
	中種子	増田小学校	全	13	2月12日	津平 由紀恵(ガーナ)	グエン ティ トウ(ベトナム)
大島	奄美市	笠利中学校	全	30	6月12日	西星良(タンザニア)	-
	大和村	大和中学校	全	29	2月18日	派遣中止	
	伊仙町	阿権小学校	全	22	12月3日	矢野夢子(アルゼンチン)	*朱 中嶺(中国)
	天城町	天城中学校	全	77	2月9日	矢野夢子(アルゼンチン)	-
私立		三育小学校	全	31	12月9日	桑山 昌洋(ボツワナ)	-
	25市町村	43校		2897			*は留学生

第2号議案 令和3年度収支決算

(令和3年 4月 1日 - 令和4年 3月31日)

< 収入 >

(単位円)

項 目	予 算(A)	決 算(B)	増 減(B-A)	適 要
会 費	1,195,000	1,205,000	10,000	法人会員102口×10,000 個人会員37口×5,000
助 成 金	80,000	80,000	0	(一社)協力隊を育てる会
雑 収 入	1,000	1,215	215	預金利息、カレンダー販売代金
繰 越 金	1,822,629	1,822,629	0	
合 計	3,098,629	3,108,844	10,215	

< 支 出 >

項 目	予 算(A)	決 算(B)	増 減(B-A)	適 要
1. 事務局費	290,000	104,959	-185,041	
通 信 費	60,000	21,193	-38,807	総会案内、請求書発送,他
印 刷 費	60,000	11,164	-48,836	総会資料、コピー代,
会 議 費	60,000	25,590	-34,410	理事会、総会会場費
消 耗 品 費	40,000	37,012	-2,988	封筒、文房具、振込手数料,他
負 担 金	20,000	10,000	-10,000	協力隊を育てる会年会費
旅 費	50,000	0	-50,000	
2. 事業費	2,090,000	1,360,320	-729,680	
クロスロード月刊誌送付	250,000	166,530	-83,470	1,308冊X130円、カレンダー同封手数料
出発隊員壮行会	50,000	0	-50,000	
帰国隊員支援	30,000	21,660	-8,340	帰国隊員との懇談、鹿屋バラ園ブース出展
国際協力講演会	30,000	0	-30,000	
留守家族懇談会	10,000	0	-10,000	
協力隊OBと留学生が先生	350,000	350,000	0	実行委員会負担金
派遣隊員への支援	300,000	0	-300,000	
広報活動	250,000	194,180	-55,820	H/Pプロバイダー費、カレンダー購入費
会報発行	250,000	127,950	-122,050	編集・印刷費、送料
青少年国際協力体験事業	400,000	400,000	0	実行委員会負担金、第30回記念事業積立
国際協力支援事業	170,000	100,000	-70,000	カンボジア学校支援プロジェクト
予備費	718,629	0	-718,629	
合 計	3,098,629	1,465,279	-1,633,350	

(次年度繰越)

3,108,844-1,465,279=1,643,565

令和3年度 監査報告

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会の令和3年度事業報告、
収支決算書について、帳票その他関係書類等を監査したところ、
その内容は適正であると認めます。

令和4年6月9日

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

監事 古田 宣稔 

令和4年6月10日

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

監事 千竈 逸雄 

第3号議案 令和4年度事業計画

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

JICA 海外協力隊事業は、新型コロナウイルス感染拡大により、派遣隊員全員の帰国や新規隊員募集活動の縮小など、非常に厳しい環境下であった。本会の活動もその影響を受け一部事業の中止を余儀なくされた。しかし昨今のコロナ感染者の重症化率低下やワクチン接種の効果により、海外協力隊員の再派遣や対面募集説明会の再開等、回帰への途上である。

本会は、海外協力隊事業への支援を強化すると共に、次代を担う国際性豊かな青少年の育成や、鹿児島の更なる国際化に向けての各種活動を続けてまいります。

1. JICA 海外協力隊 帰国隊員（一時帰国待機中隊員を含む）への進路支援

- a) 県下自治体の帰国隊員採用等の情報収集と提供
- b) 民間企業求人先開拓と JICA 民間連携セミナー等の活用
- c) 帰国隊員の知事表敬同行
- d) 県内企業求人・進学など進路に関する情報収集と提供
- e) 本会会員企業・団体、帰国隊員勤務先等よりの情報収集と提供

2. JICA 海外協力隊 現職派遣の推進

募集説明会への出席や問い合わせ等で制度の紹介を行い応募相談に対応する。

3. 協力隊事業の広報並びに国際性豊かな青少年の育成

- a) 「協力隊OBと留学生が先生」教育プログラムの実施
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会が実行委員会組織)
県下23市町村の41小中校で実施
- b) 第29回鹿児島県青少年国際協力体験事業の実施
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会が実行委員会組織)
例年夏休み時に中高生を協力隊員の活動現場に派遣していますが、本年度は国内外コロナ感染状況や、協力隊員の再派遣状況より隊員現場への派遣を中止し、国内における研修事業を実施いたします。
- c) 国際協力講演会開催
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島市国際交流財団との共催)
 - ・時期 — 令和4年9月
 - ・内容 — 第1部 講演会
講師 JICA 青年海外協力隊 事務局長 小林広幸
第2部 パネルトーク
- d) ホームページの <http://www.kagojocv.net> の充実

4. JICA 海外協力隊 派遣中隊員への支援

- a) 月刊誌「グラフかごしま」の送付
- b) 壮行会の開催
- c) JICA 海外協力隊家族連絡会の開催
- d) 知事表敬への同行

5. 組織強化及び会員サービス

- a) 月刊誌「クロスロード」及び協力隊カレンダーの送付
- b) 会報「積乱雲」の発行及び送付
- c) 会員増強 — 留守家族、民間企業、各種団体および個人へ加入の呼びかけ

6. 国際協力支援及び広報活動

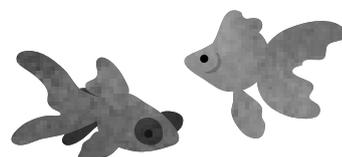
- a) 県内各地での帰国隊員報告会の実施（協力隊OB会との共催）
- b) 「小さなハートプロジェクト」の実施
- c) 県民の「国際支援・協力への思い」橋渡し支援
- d) 国際交流・協力イベントへの参加ーパネル展示、相談コーナーの設置
- e) マスコミへの取材協力
- f) 講師派遣 — 自治体、高校、大学、各種団体、企業等

7. 各種機関・団体との連携

鹿児島県、JICA 九州、青年海外協力隊OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会、(公財)鹿児島市国際交流財団、鹿児島国際交流促進センター（KAPIC、かごしま国際交流センター）他関係団体との連携

8. 会議開催及び行事参加

- a) 通常総会・理事会の開催
 - 通常総会 — 令和4年6月28日
 - 理事会 — 第1回 令和4年6月28日、 第2回 12月
- b) 各種会議、行事への参加
- c) 一般社団法人協力隊を育てる会関連会議への参加



鹿児島県青年海外協力隊を支援する会会報

《 令和4年度派遣決定校一覧 》

	実施校 目安	R4 申込数	R4 内定校	R1 実施校 ★	R2 実施校 ★	R3 実施校 ★	市町村名	学校名	優先 順位	学年	対象 人数	負担可否		希望		時期		
												謝金	旅費	外国人	給食			
鹿児島市教育委員会	7	6	6	★	★	★	鹿児島市	コウトウ 甲東中学校	1	1	80	×	○	○	×	2月上旬	1月下旬	
								ナカス 中州小学校	2	6	60	△	△	×	×	2月上旬	11月下旬	
								タニヤマ キタ 谷山北中学校	3	2	218	○	×	○	×	10月上旬	12月上旬	
								スズヤマ 錫山中学校	4	全	9	×	×	○	×	12月中旬	12月上旬	
								クロガミ 黒神中学校	5	1	1	○	○	○	○	4月中旬	2月中旬	
								ムシガオカ 牟礼岡中学校	6	5	19	×	×	○	○	11月中旬	12月上旬	
鹿児島教育事務所	3	5	5	★	★	★	いちき串木野市	アラカフ 荒川小学校	1	3~6	13	×	×	○	○	11月上旬	12月上旬	
							日置市	イザク タ 伊作田小学校	2	3・4	14	○	○	○	○	1月下旬	2月上旬	
							日置市	ナガヨシ 永吉小学校	3	全	37	×	×	×	×	11月2日	10月中旬	
							十島村	アサキキジマ 悪石島小中学校	4	全	9	×	×	○	○	12月上旬	6月下旬	
							いちき串木野市	セイフク 生福小学校	5	4~6	55	×	×	○	○	10月下旬	10月中旬	
南薩教育事務所	3	4	4	★	★	★	南さつま市	バンセイ 万世小学校	1	5,6	58	×	×	×	×	6月下旬	7月上旬	
							枕崎市	マクラザキ 枕崎中学校	2	3	62	×	×	×	×	6月中旬	7月上旬	
							枕崎市	サクラヤマ 桜山小学校	3	6	33	×	×	×	×	2月上旬	2月中旬	
							枕崎市	サクラヤマ 桜山中学校	4	全	67	×	×	×	×	10月上旬	12月中旬	
北薩教育事務所	5	8	6	★	★	★	阿久根市	オリタ 折多小学校	1	5,6	26	○	×	×	×	6月中旬	6月下旬	
							阿久根市	アクネ 阿久根中学校	2	2	81	○	×	×	×	6月下旬	7月上旬	
							長島町	ヒラオ 平尾小学校	3	1~6	73	△	×	○	○	11月上旬	6月中旬	
							出水市	コメツ 米ノ津中学校	4	全	309	×	×	×	×	5月下旬	6月上旬	
							阿久根市	ワキモト 脇本小学校	5	6	35	○	×	○	×	2月上旬	2月中旬	
							出水市	エウチ 江内小学校	6	6	21	×	×	×	×	2月下旬	3月上旬	
始良・伊佐教育事務所	5	5	5	★	★	★	始良市	ニシキエ 錦江小学校	1	4	31	×	×	×	×	2月上旬	1月下旬	
							霧島市	ヨコガワ 横川小学校	2	5・6	36	×	×	×	×	11月上旬	11下旬	
							霧島市	マキノハラ 牧之原中学校若駒分校	3	全	7	×	×	○	×	5月下旬	12月中旬	
							霧島市	ヨコブシ 国分西小学校	4	6	106	×	×	○	×	12月下旬	1月上旬	
							湧水町	ヨシマツ 吉松中学校	5	全	51	○	×	×	×	6月	—	
大隅教育事務所	7	3	3	★	★	★	錦江町	タシロ 田代中学校	1	全	40	△	△	○	×	7月中旬	11月下旬	
							肝付町	クニミ 国見中学校	2	全	30	△	○	○	×	12月上旬	1月下旬	
							曾於市	タカオカ 高岡小学校	3	全	6	○	○	○	○	10月中旬	2月中旬	
熊毛教育事務所	2	5	4	★	★	★	中種子町	マサダ 増田小学校	1	全	32	×	×	○	○	2月中旬	2月上旬	
							西之表市	フルタ 古田小学校	2	全	10	○	×	×	×	10月上旬	11月上旬	
							中種子町	ホシハラ 星原小学校	3	全	17	×	×	○	×	11月上旬	11月中旬	
							西之表市	タネガシマ 種子島中学校	4	3	130	△	×	×	○	6月上旬	11月中旬	
大島教育事務所	7	10	7	★	★	★	龍郷町	セキトウ 赤徳小中学校	1	5・6	33	×	×	×	○	10月中旬	10月下旬	
							徳之島町	カメトウ 亀徳小学校	2	5・6	26	△	×	×	×	5月中旬	5月下旬	
							伊仙町	イセン 伊仙中学校	3	全	96	○	×	○	○	12月上旬	11月下旬	
							大和村	ヤマト 大和小学校	4	3	13	○	×	○	×	11月下旬	12月上旬	
							奄美市	ミヨウ 住用中学校	5	全	10	○	×	○	×	7月上旬	11月下旬	
							奄美市	アサヒ 朝日中学校	6	全	285	△	×	○	×	12月上旬	12中旬	
							奄美市	オオカワ 大川小学校	7	3~6	18	×	×	×	○	11月中旬	6月中旬	
私立	1	1	1				—			全	31	×	×	×	○	12月中旬	7月上旬	
	40	47	41		22	3	23市町村	41校				2288	12	7	21	14		

第4号議案 令和4年度予算

(令和4年 4月 1日 - 令和5年 3月31日)

< 収入 >

(単位円)

項 目	予 算	前年度予算	対前年増減	適 要
会 費	1,200,000	1,195,000	5,000	法人会員102口×10,000 個人会員36口×5,000
助 成 金	80,000	80,000	0	(社)協力隊を育てる会
雑 収 入	1,000	1,000	0	預金利息、カレンダー販売
繰 越 金	1,643,265	1,822,629	-179,364	
合 計	2,924,265	3,098,629	-174,364	

< 支 出 >

項 目	予 算	前年度予算	対前年増減	適 要
1. 事務局費	290,000	290,000	0	
通信費	60,000	60,000	0	総会案内、請求書発送,他
印刷費	60,000	60,000	0	総会資料、コピー代,他
会議費	60,000	60,000	0	
消耗品費	40,000	40,000	0	封筒、文房具、振込手数料,他
負担金	20,000	20,000	0	協力隊を育てる会・九州海外協力協会
旅 費	50,000	50,000	0	協力隊育てる会総会出席
2. 事業費	2,040,000	2,090,000	-50,000	
クロスロード月刊誌送付	250,000	250,000	0	2000冊×120円、カレンダー送付手数料
出発隊員壮行会	50,000	50,000	0	負担金
帰国隊員支援	30,000	30,000	0	
国際協力講演会	30,000	30,000	0	通信費,帰国報告
留守家族懇談会	30,000	10,000	20,000	
協力隊OBと留学生が先生	350,000	350,000	0	実行委員会負担金
派遣隊員支援	300,000	300,000	0	グラフかごしま 送付
広報活動	250,000	250,000	0	HP、パネル展、カレンダー、帰国報告
会報発行	250,000	250,000	0	印刷費・送料
青少年国際協力体験事業	200,000	400,000	-200,000	実行委員会負担金
国際協力支援事業	300,000	170,000	130,000	小さなハートプロジェクト他
予備費	594,265	718,629	-124,364	
合 計	2,924,265	3,098,629	-174,364	



鹿児島県青年海外協力隊を支援する会役員

令和3年7月1日～令和5年6月30日

役員名	氏名	現役職名
顧問	塩田康一	鹿児島県 知事
〃	佐野輝	鹿児島大学 学長
〃	下鶴隆央	鹿児島市 市長
〃	岩崎芳太郎	鹿児島商工会議所 会頭
会長	衛藤威臣	鹿児島大学名誉教授
副会長	★ 松下正	(公財)鹿児島県国際交流協会 専務理事
理事	永倉悦雄	鹿児島相互信用金庫 理事長
〃	岩元純吉	(株)山形屋 代表取締役会長
〃	海江田順三郎	鹿児島ユネスコ協会副会長
〃	松山澄寛	(株)鹿児島銀行 頭取
〃	岸尾隆	鹿児島県市長会 事務局長
〃	小正芳史	鹿児島県中小企業団体中央会 会長
〃	大柳俊一	鹿児島県町村会 事務局長
〃	佐潟隆一	(株)南日本新聞社 社長
〃	志賀啓一	志学館大学 理事長
〃	★ 大園博文	鹿児島県国際交流課 課長
〃	橋口知章	川内商工会議所 会頭
〃	坪水徳郎	鹿屋商工会議所 会頭
〃	永山在紀	南国殖産(株) 社長
〃	中野寿康	(株)南日本放送 社長
〃	原口泉	志学館大学 教授
〃	東勤	(株)ヒガシマル 社長
〃	南徹	iBS外語学院 院長
〃	斎藤真一	(株)南日本銀行 頭取
〃	安楽大	(株)トータルコミュニケーションサービス 社長
〃	木原和代	青年海外協力隊鹿児島県OB会 会長
〃	桑山昌洋	かごしま国際交流センター所長
兼事務局長	弓場秋信	弓場貿易(株) 社長
監事	古田宜稔	外菌グループ 部長
〃	千竈逸雄	(株)文化社

★:人事異動により交代

〔第3種郵便物認可〕

新聞

山口 福岡 大分 佐賀 長崎 熊本 宮崎 鹿児島

OB会など支援充実

JICA（国際協力機構）が毎年、開発途上国に派遣している青年海外協力隊。1965年に初代の隊員がラオスに行き、以来、これまで92カ国で延べ4万5776人が活動してきた（2020年12月末現在、シリアを除く）。累計では4695人の東京都が最も多いが、人口10万人当たりでは55・1人の鹿児島を筆頭に上位10位内に九州・山口の6県が入っている。8位の大分県は、女性が54・6%と全国で最も高い割合となっている。

【井上和也】

データではっけん!!

九州・山口8県のすがた

協力隊の仕事は開発途上国からの要請によるもので、農林水産や商業観光、スポーツの人的資源など9分野約190職種に及ぶ。職種では▽コミュニケーション▽理学療法士▽小学校教員▽日本語教師▽看護師

◆人口10万人当たりの派遣累計

①鹿児島県	55.1人
②島根県	54.5人
③宮崎県	51.3人
④長崎県	50.8人
⑤大分県	47.8人
⑥熊本県	46.9人
⑦山口県	43.7人
⑧佐賀県	41.2人
⑨福岡県	39.8人

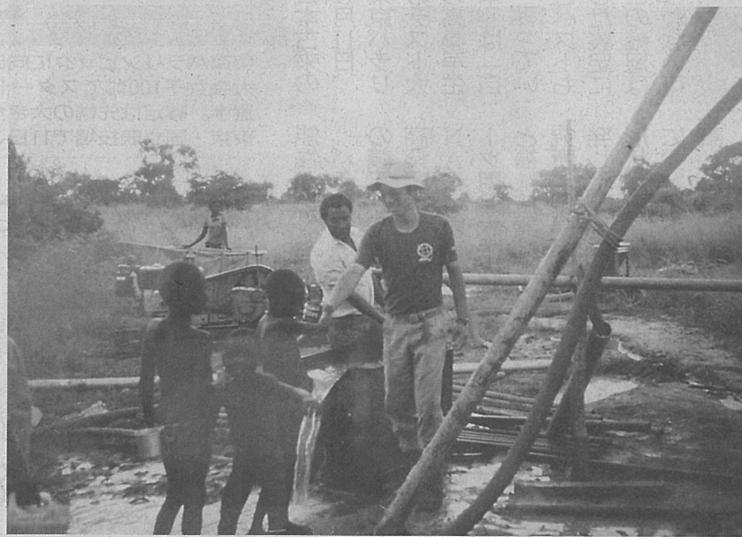
（2020年末 JICA調べ、人口は2019年10月1日現在）

多い。期間は短期（1年未満）と長期（2年）があり、主な目的は開発途上国の経

青年海外協力隊 出身者多く

済・社会の発展やボランティア経験の社会還元など。文化も言語も異なる土地で得意分野を生かした職種での関わりは、現地の人にとっても協力隊員にとっても

貴重な経験となっている。エチオピアで2年間地下水開発に従事し、帰国後、福岡県太宰府市で地質コンサルタント事務所を開業した安村和俊さん(66)は「人



エチオピアで井戸掘り作業をする安村さん（中央）

◆青年海外協力隊 派遣実績

都道府県	派遣・帰国累計
①東京	4695人
②神奈川	3151人
③大阪	2585人
④福岡	2035人
⑤鹿児島	883人
⑥熊本	821人
⑦長崎	675人
⑧山口	594人
⑨宮崎	551人
⑩大分	543人
⑪佐賀	336人

生が変わった」という一人。約35年前、数カ所の難民キャンプで井戸を掘り、水が出た時、現地の人たちと喜びあった時のことを鮮明に覚えている。「人との交流が楽しかった。価値観が変わった」と振り返る。任務期間中に、マラウイで協力隊として理数科教師をした後、NGOのプロジェクトとして病院運営のためエチオピアに来ていた妻妙さん(62)と出会い、結婚。2016年度には長男(32)はウガンダ、次男(31)はマラウイと、いずれもアフリカの地でコミュニケーション開発の職種で協力隊に参加している。

「鹿児島県協力隊を支援する会」事務局長の弓場秋信さん(73)は1972年から2年間、マレーシアに溶接の職種で派遣された。帰国後は「若い世代を育てたい」と県OB会の会長や協力隊進路相談カウンセラーで実施する。

協力隊は2020年、新型コロナウイルスの影響で派遣中だった約2000人が全員帰国。春の募集は選考で中止となり、秋は募集も中止となった。21年は春の募集を5月20日〜6月30日

2022年度1次隊 鹿児島県・鹿児島市出発前表敬

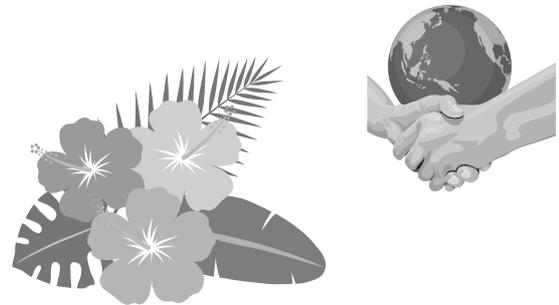
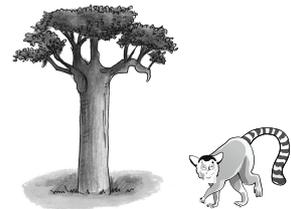
7月12日(火)、2022年度1次隊の鹿児島県・鹿児島市出発前表敬訪問がありました。今回は1名の出発です。表敬訪問後はJICA九州職員やマダガスカルOVらと共にランチ壮行会を開催いたしました。「教育活動が主な活動ですが、そこにとらわれず、現地の方のためにやりたいことを見つけて精一杯活動してきます。」と決意表明されました。

2年間のご活躍を祈念いたします。

JICA海外協力隊 派遣



隊次:2022年度1次隊
派遣国:マダガスカル
職種:小学校教育
氏名:櫛 俊光 (あおき としみつ)



会員募集中です。

1人の多くの人の応援が、海を越えた若者たちを勇気づけ、そのエネルギーが地球中に広がります。

年会費：① 個人会員：5,000円/口 ② 特別会員：10,000円/口

振込先：鹿児島銀行卸本町支店（普）829067

名義人：鹿児島県青年海外協力隊を支援する会 会長 衛藤威臣

なお、会員のみなさまには、月刊誌「クロスロード」が送付されます。



編集後記

今夏も記録的な猛暑日が続き、「熱中症アラート警戒」と耳にすることが多々ありますね。子どもの頃は暑さなど関係なく夏を謳歌していましたが、この頃は蝉の声ですら熱風を強く感じます。しかし、早いところでは稲穂が色付き、お米の収穫がなされ、次の季節が遠くに見えてきました。とはいえ、残暑厳しい日がまだまだ続きます。皆様、どうぞ夏バテをしないようにお過ごしください。